

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	QZ1 QUAD FIRE	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG	0.043	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：QZ1 Red Pearl

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：QZ1 Purple Pearl

フレアーの幅 インチ

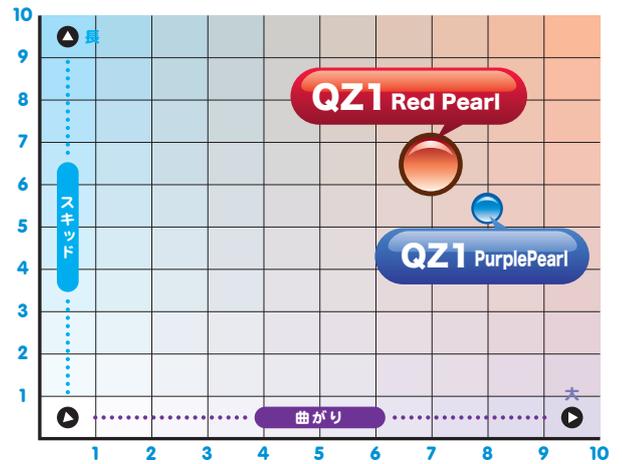
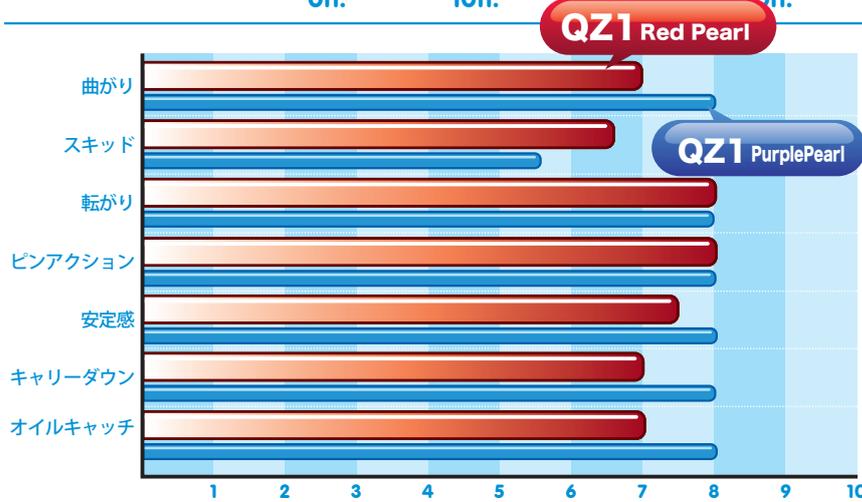
PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



ボールの評価

今回発売されるこのQZ1の2種類は非常に面白いボールで、同じコアと同カバーストックを纏いながら配色と表面加工が違うだけでストロングアークと角が出るスキッドするクイックなリアクションとに分けられています。

パープルパールは#1000ポリッシュでストロングアークの扱いやすい安定したリアクション。レッドパールは#2000ポリッシュで暴れるくらいのシャープな角が出る攻撃的リアクションです。

テストボールの段階で二つのボールを受け取り、カバーストックはMOTIVator-Z、新開発のQuadfireコア、RG:2.550△RG:0.043の表記は変わらず、表面加工とカバーストックの配色が違うのは、ただ単に性能の差を投げ比べるだけだと思っていたのです。しかし単に表面加工の差だけでないことは投球し始めてすぐに理解できました。私の今までの経験上、#1000ポリッシュと#2000ポリッシュの差だけで、これ程パフォーマンスが違うと感じたのは初めてで、その差だけでストロングアークと角が出るリアクションの違いの大きさに驚きを隠せません。

MOTIV社の意図として感じられるのは、パープルパールはGT1に見られるミッドエリアからの扱いやすいリアクションイメージに仕上げ、レッドパールはSR2をモチーフにし、スキッドレベルを上げ、角が出るバックエンド重視のリアクションに仕上げているということ。今回ABSはこの2種類のボールを用途に合わせて使用して頂けるようお求め安いミッドプライスで販売致します。

ボールを持ち始めて間もない方やトップレベルの方まで、また二つのボールを同時に持ち、リアクション性能が持つ差でコンディションに対応することも可能です。ストロングアークのパープル、シャープなリアクションのレッド。貴方はどちらを選びますか？

特記事項

扱いやすさや求めるなら安定感のパープルを、先での動きを強調させたいのであれば攻撃的なレッドを。同コア・同カバーストックながら異なったリアクションをお求め安いミッドプライスで！